平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 5 月 19 日までに
呼吸器内科外来を受診した患者さんの
情報の研究利用に関するお知らせ

この度，川崎医科大学呼吸器内科学では，「慢性閉塞性肺疾患(COPD)の診断における COPD-PS 質問票と IPAG-COPD 質問票の併用の有用性」という研究を行うことになりました。

この研究は慢性閉塞性肺疾患(COPD)の診断における COPD-PS 質問票と IPAG-COPD 質問票を併用した際の有用性が改善するかどうかを明らかにすることを目的としています。

この研究のため、平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 5 月 19 日までに当科で診療させていただいた呼吸器疾患患者さんのうち，外来受診時に COPD-PS 質問票と IPAG-COPD 質問票を記載して，最終診断がついた方を対象に，この 2 つの質問票の診断力の比較，またこの 2 つを併用した時の診断力の改善があるかどうか検討を行います。対象となるのは個人情報を含まない医学的な情報と質問票の回答内容です。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究課題を実施する研究者が所属する教室は日本ベーリンガーインゲルハイム㈱、中外製薬㈱、協和発酵キリン㈱、グラクソ・スミスクライン㈱、第一三共㈱、大塚製薬㈱、大鵬薬品工業㈱、MSD㈱、アステラス製薬㈱より、奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されております。なお、これらの企業は、本研究課題には直接関係はございません。

本研究は呼吸器内科学教室の学内研究費を用いて行う研究であり、企業等から主任研究者や分担研究者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはございません。利益相反委員会に申告し、利益相反は適正に管理されております。

調査したデータは当施設で厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関するご質問等がございましたら遠慮なくお尋ねください。

川崎医科大学　呼吸器内科学
研究代表者　臨床助教　清水大樹
連絡先　086-462-1111 (代表)